

平成 24 年度萬鉄五郎記念美術館運営委員会会議録

日時：平成 24 年 12 月 26 日(水)14：05～15：50

場所：花巻市東和総合支所第 2 会議室

1 開 会

【1 開会から 3 会長の互選、会長職務代理者の指名まで平野副館長が進行】

- (1) 14 時 5 分、平野副館長が開会を告げ、現在の出席状況は委員 10 名中 8 名の出席で過半数の出席があり、萬鉄五郎記念美術館運営規則(以下「規則」という。)第 7 条第 2 項の規定により、委員会が有効に成立する旨告げた。

【出席委員 菊池房江委員、紺野浩一委員、菅沼緑委員、杉本吉武委員、平野広委員、宮澤潤子委員、門馬優子委員、山蔭知也委員】

【欠席通告委員 斎藤純委員、木村正委員】

【傍聴者 岩手日日新聞社】

- (2) 平野副館長が会議資料により委員及び美術館職員を紹介した。

2 挨拶

- (1) まちづくり部長 菊池保守

- ・年末のお忙しい中出席いただき、また、委員への就任をご承諾いただき感謝申し上げる。
- ・花巻市では、文化・スポーツ関係はまちづくり部では所管しているが、まちづくり政策と一体的に進めたいという市長の方針によるもの。特にスポーツ関係は権限のほとんどがまちづくり部所管となった。文化関係では、萬美術館、賢治記念館、イーハトーブ館、新渡戸記念館、図書館が教育委員会からの補助執行となっている。権限は担当部長とその職員に任せられている。
- ・本日の委員会は、23 年度・24 年度の実績報告と、25 年度の萬美術館の運営計画についてご審議いただくもので、いろいろご意見を頂戴したい。

- (2) 萬鉄五郎記念美術館館長 中村光紀

- ・初めに 2 点ご報告する。一つ目は、去る 10 月 20 日、萬蔵子さんが 92 歳で逝去された。この美術館ができる前からいろいろご支援いただいた方であり残念である。
- ・二つ目は、花巻ゆかりの美術家の展覧会についてであるが、国立近代美術館では開館 60 周年を記念して、日本近代美術 100 年 館所蔵ベストセレクション展が開催されており、重要文化財である「裸体美人」や「もたれて立つ人」が展示されている。この展覧会には、松本俊介の作品も展示されているが、世田谷美術館では松本俊介の生誕 100 年を記念した展覧会が開催されている。このように、花巻の文化発信に欠かせない 2 人の展覧会が開催されていることは大変喜ばしいことである。
- ・次に館の運営についてだが、常設展だけではお客さんを呼ぶことは難しく、企画展の充実が重要である。その企画展も、ポピュラーなもの、親子で楽しめるもの、芸術的評価の高

いものといった3本柱を基本に企画したい。萬美術館は小規模館だが、企画展については全国的に評価が高い。

- ・25年度では、瀧口修造展を予定しているが、今からツアーを組んで観覧したいという申し出もあり、今後もこうした全国に発信できる企画展に取り組みたい。

3 会長の互選、会長職務代理者の指名

- ・平野副館長が会長の互選方法について諮ったところ、平野広氏を推薦する意見があり、満場一致で同氏が会長に選出された。
- ・会長職務代理者には、規則第6条第3項の規定に基づき、平野会長の指名により門馬優子氏が就任した。

(会長及び会長職務代理者は、席を移動後それぞれ就任のあいさつを行った。また、各委員の席は、現在着席している席と決定した。)

4 議事 (以後の進行は平野会長)

【平野会長】

初めに報告事項を議題とし、報告第1号平成23年度萬鉄五郎記念美術館運営実績及び平成24年度の運営状況について、報告第2号主な企画展と入館状況について、報告第3号寄贈等新収蔵品について3件を一括議題とし、事務局の説明を求めた。

《説明》

報告第1号について、基本方針、展覧会事業、新収蔵作品に関しては平澤主査が、教育普及事業、ボランティア事業に関しては伊藤上席主任が、それぞれ資料により説明した。

《質疑応答》

【質問・菅沼委員】

寄贈作品と寄託作品の違いはどのようなことか。

【回答・平沢】

寄贈作品はいただいたものであり、寄託作品は預かっているもので、展示や管理については美術館に任されているもの。当館では2年に1度寄託更新の意思の確認を行っている。申し出があれば何でも受け入れということではなく、寄贈寄託とも美術館の内規に則り選定をして受け入れている。

【質問・門馬職務代理】

作品の収蔵状況はどのようになっているのか。旧小学校施設の利用を考えてはどうか。

【回答・平沢】

美術館内の収蔵庫には、萬作品を収蔵している。また、ふるさと歴史資料館内にも収蔵庫が

3部屋あり、そちらには大型作品や現代作家の作品を収蔵している。ただ、どちらもいっぱいになっていて、旧土沢小学校校舎には什器類などの保管している。旧小学校は温湿度の関係や盗難等のセキュリティの問題があるので、寄贈や寄託を受けた作品の保管には問題がある。倉庫として利用するのは大いに考えられる。今後の利用については検討していく。

【質問・菊池委員】

寄託作品は、将来的には館で買い取りを考えて預かっているのか。

【回答・平沢】

美術館として展示するにふさわしい作品の寄託を受けており、購入したい気持ちはあるが、いろいろとクリアしなければならない問題がある。お金が潤沢にあれば買いたい作品があるが、場合によっては寄贈をお願いすることもある。

【質問・紺野委員】

現在、基金が300万円の残額のようなのだが、これを充実する予定はあるのか。

【補足説明・中村館長】

基本的には基金は2千万円だが、1千7百万円の作品を購入したため、現金としては現在300万円となっている。

【回答・菊池部長】

今後、購入したい作品があれば、その都度予算化して購入する方針である。

【質問・紺野委員】

現在開催中の「寺島貞志展」とても良い展覧会だ。ただ、寺島の前半部分しか紹介していないようなので、後半部分についてもぜひ取り上げてほしい。

【回答・平沢】

ご指摘の通り今回の展覧会では、画業の前半部分しか展示していない。花巻ゆかりの作家であり、今すぐとはいかないが数年後には全貌を紹介する展覧会を計画したいと考えている。

【そのほか質問意見がなく、平野会長が報告事項の審議の終結を告げた。】

《諮問》

【審議に先立ち中村館長が諮問書を読み上げ、平野会長に諮問書を交付した。】

【平野会長】

諮問第1号平成25年度萬鉄五郎記念美術館運営計画を議題とし、事務局の説明を求めた。

《説明》

第1 基本方針及び第2 部門別計画については平澤主査が、第3 管理運営関係については平野副館長が、それぞれ資料により説明した。なお、作品の購入については、基金ではなく、報告事項における部長回答のとおり、一般会計予算で購入する方針である旨修正した。

【平野会長】25 年度の運営計画について、各委員から質問、意見を求める。

【意見・杉本委員】

美術館の作品がどんどん増えていくのは宿命であろう。県立美術館を例にしても展示スペースより収蔵スペースが広くとられているのが普通である。今萬美術館ではいろいろ分散して収蔵しているようだが、それでは不便である。建物や駐車場も含めて施設を見直す時期なのではないか。

現在の建物は萬作品を展示収蔵する本館、さらに岩手の作家を紹介する施設として収蔵庫と一体の別館を考えてはどうか。それには、学校などの遊休施設を利用するということも考えられる。萬作品は本館、他の作品は別館ギャラリーと、2つ施設を分けたらよいのではないか。

【意見・菅沼委員】

もうじき萬美術館も開館30 年である。展示室のクロスも古ぼけて焼けてきているし、広い展示室ができたらいいなと思っている。震災の関係もあり改築についての話し合いも中断していたようだが、本格的に検討されることを期待している。

【意見・紺野委員】

収蔵庫と展示室の改築は大いに検討しなくてはならないものとする。それ以外にも座っていろいろ資料を調べたり、画集を閲覧できるようなスペースが欲しい。

【意見・菊池委員】

展示台や什器はともかく、作品を収蔵するスペースは、倉庫のような場所ではなくて、温度や湿度など適正に管理できる収蔵庫の整備が必要と考える。美術館のリニューアルと合わせて考えて欲しい。展覧会の充実についてはいろいろと計画されているようだが、作品の保存・保管も大切なことでありきちんと検討すべき事項であるとする。

【意見・門馬職務代理】

美術館の建物も老朽化してきている。現在ある施設で具体的にいえば旧東和高校は、高台にあり広さも十分で、街はずれなのが残念だが、館の整備を検討する際には、この施設の利用も本気で考える時ではないか。

【意見・山蔭委員】

東和中学校は、美術館が身近にあるということで非常に恵まれた環境にあり、歩いて見学さ

せてもらっている。萬美術館の企画展は、他の美術館と比べてみるととても充実していて素晴らしいと感じる。うまく宣伝できれば、もっとお客さんも増えると思う。ただ、中学生向けとしては、専門用語があったり少し難しい点もあり、解説などももう少し分かりやすい工夫があればと感じる。

【意見・宮澤委員】

以前から気になっていたが、収蔵庫と展示室は、予算の関係もあるだろうが、広く綺麗にして欲しい。作品が増えるにつれ、作品の収蔵・管理はとても大事なことと思う。

【意見・感想 平野会長】

開館後 30 年経って、バックヤードが狭くなってきている。美術館を建設した時の認識不足、見せることだけを考えていたため、今苦勞しているのかなと思う。規模という意味だけでなく、美術館という機能を大きくしていくためには施設の充実は必要である。東和地区には小学校や高校の遊休施設もあるので、その利用も考えたいが、作品の保存その他の問題もあるであろう。これからの議論が必要と思う。

【意見に対する所感・菊池部長】

ふるさと歴史資料館の収蔵庫の状況をこの前見たが、きちっと整理する必要性を感じた。そのうえでまずは施設整備の前に、どういう作品がありどれだけの収蔵スペースが必要なのか、これから割り出していく必要がある。

また、萬美術館は町内全世帯の寄付をもとに開館したという経緯がある。これは東和地域全体の課題としても取り上げていかなければならない問題であると考えます。まちづくり部は美術館や記念館、図書館、体育館など合わせて 90 を超える施設を抱えている部署である。それらが老朽化で改築の時期にあたっており、まずは開館 30 年が経過した賢治記念館のリニューアルから始めていく計画である。萬美術館の今後については、地域の課題の一つとして今後検討していただきたい。

【意見・菅沼委員】

答申の中に加えてほしいことがある。現在美術館には学芸員が 2 人しかいない。以前は 3 人いたものが減っている。まちかど美術館の実施などいろいろと仕事も増えている。職員の増員についても一文加えていただきたい。

《意見集約・平野会長》

各委員から様々な意見が出されたが、諮問第 1 号の内容については原案を可として答申することに異議がないか諮り、満場で原案通り答申すること、答申書は整理の上、後日館長宛てに提出することと決定した。なお、附帯意見は次の 3 点とすることを確認した。

- (1) 収蔵庫の整備充実による作品の適正管理
- (2) 児童・生徒にも解りやすい展覧会の解説の工夫

(3) 美術館職員の増員

5 その他

平野会長がその他について事務局に説明を求め、平野副館長が次の2点について説明とお知らせを行った。

- (1) 本日の委員会の結果は、市が定める指針により会議録を公表するものであること。
- (2) 次回の委員会は、来年の予算要求前10月上旬を考えていること。

平野会長が各委員からその他の意見や要望等を求めたがなく、以上で議長職を退任する旨告げた。

6 閉会

15時50分、平野副館長が閉会を告げた。